

現憲法こそ改憲への最良の対案

3000万人署名を成功させ、安倍9条改憲を止めよう

安倍首相は1月4日の記者会見で「今年を憲法改正に向けた議論を深める一年にしたい」と強調。早ければ通常国会での改憲発議、秋の国民投票実施を画策しています。自民党憲法改正推進本部は改憲4項目(①自衛隊の明記、②緊急事態対応、③参院の合区解消、④教育の無償化・充実強化)の論点整理を行い、各党各会派からの具体的な意見・対案があれば真剣に検討すると、対案提示を求めています。

北朝鮮の核・ミサイル開発そのものは絶対に容認できません。しかし、この脅威を巧みに利用して改憲を前提とした論議を仕掛けることに対しては、本当に改憲でしか対応できないのか、もっと根源的な議論に立ち返るべきではないでしょうか。

昨年12月22日付の東京新聞社説は、現行憲法に著しい不備がないにも関わらず、改憲に向けた議論を強引に進めるのなら「改憲ありき」の批判は免れない。憲法について論議するのならそもそも改正が必要なのかの問題意識が重要で、自民党が一方的につくる議論の土俵に安易に乗ってはならない、と批判しています。

損保9条の会も毎月参加している総がかり実行委員会の共同代表高田健さんは、12月19日の行動時に「世論調査の結果は安倍9条改憲には7割が反対。これが民意だ。改憲に対する最良の対案は現行憲法だ。このことに確信をもって改憲の国会発議を阻む運動を繰り広げていこう」と強調されました。

昨年10月の「たより」で要請していますが、「安倍9条改憲NO! 市民アクション」が提唱する「3000万人署名」を成功させ、このとりくみを通じて改憲そのものを発議できない状況を作り出そうではありませんか。

これまでに59名の方から302筆の署名をいただいています。既にいただいた方も含め、今一度まわりの方に広く署名を呼びかけて下さるようお願いいたします。

- ◆署名用紙 同封の署名用紙をご利用下さい。不足の場合はお手数ですがコピー下さい。全部埋まらなくても結構です。
- ◆送付先 お手元に前回送付した返信用封筒がある場合はそれをご利用下さい。
または、〒115-0052 東京都北区赤羽北2-8-1-1301 和田典彦方 日本興亜9条の会事務局あて。
(たいへん恐縮ですが、いずれの場合も返送に要する切手代はカンパとして皆様にご負担をお願いします)

11・18 第14回損保9条の会講演会に180名、懇親会は21名の盛況

第14回損保9条の会講演会(裏面に詳報)には全体で180名、日本興亜9条の会からは32名が参加。中野晃一氏の講演はウイットに富み、かつ歯に衣を着せない語り口で、大好評でした。

「久しぶりに日頃我々が腹の中に燻っている思いを明快に言い放ってくれる講師に巡り合え、美味しいお酒が飲めました」、「新しい共闘の姿、多様性を重視した共闘のあり方など、一步前に進めねばならない時代になりました。敷布団と掛布団の例えや、異なる意見へのリスペクトの必要性など、本当に共感できました」など、多くの感想がありました。

終了後の懇親会は近くの中華料理店に場を移し、21名が参加して老若男女おおいに交流を深めました。

